

◆お名前/ご所属：小林 光助(コバヤシ コウスケ) 先生 /公益財団法人がん研究会 有明病院 肝胆膵外科

◆研究テーマ：患者主体外科周術期早期回復プログラムに関するアプリケーションの開発導入およびその有用性に関する前向き研究

◆助成金額：50万円

1：研究者になろうとしたきっかけ

肝胆膵外科医として消化器がん治療に従事し、その複雑さを知る中で、手術技術の向上、周術期管理の充実、そして手術後の社会復帰を支援する包括的治療法の開発によってがん医療に貢献することを目標に、がん研究の分野への進出を決意しました。

2：助成研究の内容紹介

近年手術技術の進化、化学療法などの組み合わせががん治療の成績を向上させています。これに加え、栄養管理やリハビリテーションを含む周術期管理の改善は、合併症の減少や術後QOLの向上に寄与しています。周術期管理の効果を最大化するために、術後早期回復プログラムに関するアプリケーションの開発と導入を研究しました。また、がんサバイバーの中には多くの併存疾患を持つ患者さんもあり、手術が生活習慣病や併存疾患の管理にも役立つ機会になると期待されます。

3：2の将来に繋がる結果予想・目標

この研究により手術後も継続した栄養状態や生活習慣病の管理と改善を促し、高齢化する日本社会でのウェルビーイングを実現することを目指します。具体的には、術後合併症を含めた短期成績の向上と、がん治療の長期成績の向上、術後栄養障害などの予防、解明、治療の発展、周術期医療モデルの構築およびその普及が期待されます。

4：全国のRFL関係者に一言メッセージ

この度は貴重な助成金を頂きまして心より感謝申し上げます。がん治療を通して、患者さんのウェルビーイングの実現の一助となるよう、誠心誠意尽力して行きたいと考えております。